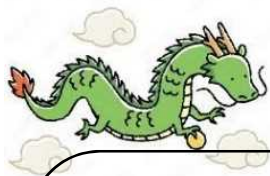


自立活動だより



令和5年度 県立鹿児島聾学校自立活動部
第6号 文責 北川 杉崎



令和6年が始まりました。1か月が過ぎました。

2月2日は鹿児島聾学校の創立記念日で、今年で創立121年となります。

かごしまろうがっこう 鹿児島聾学校のあゆみ

明治36年2月2日、山之口町に私立鹿児島慈恵盲啞学校が創立されました。南雲総次郎先生が初代学校長でした。南雲先生は山形県出身で、16才の時、猟に出かけ、誤って散弾銃の一部が両眼に当たり失明されました。その後、東京盲啞学校で学び、卒業後、加藤病院のマッサージ師として鹿児島に来られました。当時鹿児島県には、まだ盲ろう教育機関がなかったので、院長先生と相談して訓盲点字の講習を始めたそうです。病院の仕事の合間を利用するだけでは十分な指導ができなかったので、3年で病院をやめて、盲人教育のために取り組む決意をされました。ちなみに南雲先生は日本に三つの聾学校を作られました。

大正8年7月に、私立鹿児島盲啞学校と改称されました。そのときの校長は、川畑宗次郎先生でした。川畑先生の胸像が校庭にあります。

昭和23年4月1日、盲学校と分かれて、現在の鹿児島県立鹿児島聾学校となりました。平成27年4月(創立113周年)に草牟田校舎から、今の下伊敷校舎に移りました。それが現在、みなさんが元気に学習や運動に励んでいる場所です。



南雲 総次郎 先生



川畑 宗次郎 先生

でんわ ねが てちょう も 電話お願い手帳 持っていますか？

今年(ことし)は元旦(がんとん)に能登半島(の とはんとう)で大きな地震(おお じしん)が発生(はっせい)し、自然災害(しぜんさいがい)の怖さ(こわさ)を痛感(つうかん)した年明け(としあけ)となりました。

いつどこで何が(なに)起こる(お)か分(わか)らない(おも)うと、日(ひ)ごろから(そな)の備(ひつよう)えが(まいとし)必要(めい)です。毎年(まいとし)、NTT(にんてい)から学校(がっこう)に電話(でんわ)お願い手帳(ねが てちょう)を(はいふ)いただき、配付(はいふ)を(はいふ)しています。まず(まず)は家(いえ)の住(じゅう)所(しょ)や家族(かぞく)の連絡先(れんらくさき)など、大(だい)事(じ)な個人情(こじんじょうほう)報(ほう)を(か)き(こ)み(な)入(い)れ、何(なに)かあ(あ)つ(あ)つ(あ)つ)たら活(かつ)用(よう)で(で)きる(きる)よ(よ)う(う)に常(つね)に備(そな)えて(お)き(ま)し(ま)し(ま)し(ま)し)よう(よう)。



手帳(てちょう)の表紙(ひょうし)です。アプリ(あぷり)も(も)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。



指差(ゆびさ)して(おも)い(いた)を(つた)え(え)る(る)こ(こ)と(と)が(が)で(で)き(き)ま(ま)す(す)。

じりつかつどう じかん
自立活動の時間 ようちぶ しょうかい
 ~ 幼稚部の紹介 ~

ようちぶ じりつかつどう
 幼稚部の自立活動では、「みる」「きく」「はなす」の基礎となる活動に取り組んでいます。

ちようりよくそくてい じかん
聴力測定の時間

つき 月に2~3回、幼児用の測定室で
 聴力測定などを行っています。補聴器
 や人工内耳を毎日きちんと装用して、
 自分の聴力を最大限活用することがで
 きるように、「きく」活動に取り組んでい
 ます。



よくきいてね。

きこえたよ！

あひるのじかん
あひるの時間

あひるの時間には、お口の体操や発音
 遊び（声出し遊び、口唇を使う遊び、息遊
 びなど）、音遊び、言葉遊びなどをしてい
 ます。楽しくやり取りしながら、一人一人
 に合わせた活動に取り組んでいます。



じようず よ
 上手に読めるよ！

いき
 息をフー。できるかな？



あ・お・う・え・い
 口の形を合わせて言うよ。

ストローをやさしくくわえて
 コップの中に息をフー
 やったあ！
 ぶくぶくできたよ。



せんせい
 先生といっしょに
 かるたで勝負だ。
 よくきいて札を
 と取るよ。
 負けなぞ！